

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	8	B	110	C	13	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	7	B	47	C	8	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	3	B	15	C	1	D	0	II	<p>中期目標の数値目標(国家試験の合格率)について、医師国家試験では数値目標を達成したことについて評価できる。保健師国家試験、看護師国家試験では数値目標にわずかに及ばなかった。</p> <p>医師 実績96.2%、合格76/受験79名 (目標 95%、全国89.2%)</p> <p>保健師 実績92.3% 合格84/受験91名 (目標 95%、全国87.8%)</p> <p>看護師 実績98.8% 合格81/受験82名 (目標100%、全国93.9%)</p>
		<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。</p> <p>学士課程では、新設した「コミュニケーション論」において、医療従事者として患者やスタッフとの円滑なコミュニケーションを図ることのできる基本的な知識・技能の習得を図ったほか、これまで第3学年の後期にのみ実施していた「チュートリアル」を第2学年の前期に新設し、少人数のグループ学習を通じて、自らの考えを他人に伝える能力の育成を図った。</p> <p>大学院課程では、学外から講師を招いて、博士・修士両課程とも必修科目として「大学院セミナー」や「特別講義」を開講し、多分野にわたる最先端の研究法や知識の習得を図った。</p>									
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	20	C	6	D	0	II	<p>医学部の定員増について、5名の増員により、平成22年4月から105名にするとともに、入学定員増に伴い推薦入試枠を30名以内から35名以内に増員し、県内枠(21名程度)、県外枠(7名程度)に加えて、新たに県内特別枠(7名程度)を設け、入学試験を実施したことについて評価できる。</p>
		<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。</p> <p>スキル・ラボラトリーを開設し、件数で260件、利用者は延べ2314名と高い利用実績であった。また、課外でシミュレーターを用いた静脈採血講習会を開催した。</p> <p>医学部推薦入学については、平成22年度推薦入試から福島県の医療向上を目指す地域に根ざした医療人を育成するため、新たに「県内特別枠」を設け、修学資金を貸与し、将来県内の公的医療機関に勤務し、地域医療に従事しようとする学生の募集を行った。</p>									

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目			公立大学法人自己評価							評価委員会評価	
			計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II	教育に必要な施設を充実させるために設置した、スキル・ラボラトリー(実践的臨床教育訓練室)を開所し、授業・実習において活用をしたことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 臨床の教員に対し、スキル・ラボを活用したシミュレーション教育の充実についての研修を実施し、教育指導能力の育成に努めた。									
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	1	D	0	II	医学部1・2年生に担任制とオフィスアワーを導入し、さらに医学部5・6年生には基礎医学・社会学系の各講座等の教員が相談を受ける体制を確立するなど、きめ細かな学生支援に努めたことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 医学部1・2年生に導入した担任制とオフィスアワー、さらに医学部5・6年生については基礎医学・社会学系の各講座等の教員が相談を受けるなど、きめ細かい学生支援を行った。 特に、メンタル面のサポートが必要な学生については、大学健康管理センター所属のカウンセラーと連携をしながら対応した。									
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	0	B	17	C	1	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。									
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	1	D	0	II	文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域産学官共同研究拠点整備事業に「(仮称)ふくしま医療-産業リエゾン支援拠点」整備事業が採択されたことから、関係機関と協議を進めたことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域産学官共同研究拠点整備事業に本学提案の個別がん医療用新規抗がん剤・診断薬の創薬を中心とする「(仮称)ふくしま医療-産業リエゾン支援拠点」整備事業が採択されたことから、同研究施設・設備等の整備について、県・JST等と協議を進めた。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
	(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 科学研究費補助金の採択に携わった方や、採択率を向上させた実績を持つ他大学の関係者等を招聘し、「科学研究費補助金の申請に係る講演会」を開催するなど外部資金獲得のための環境の整備に努めた。									
	3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	1	B	16	C	1	D	0	II	
			年度計画どおり概ね順調に実施した。									
	(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	1	B	5	C	0	D	0	II	県等からの委嘱依頼に積極的に対応し、地域社会や県との連携・協力を積極的に行ったことについて評価できる。
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 県等からの各種審議会委員等への委嘱依頼に対し、積極的に対応した。平成18年度と比較し、20.5%増となっている。									
	(2)	地域医療の支援に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	地域の医師不足解消のため、地域医療支援担当教員15名、公的病院支援担当教員33名、政策医療等支援教員20名により、地域医療の支援を行ったことについて評価できる。
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 第4学年の「衛生学・公衆衛生学実習」において地域への家庭訪問等を実施し、保健・医療・福祉の地域スタッフと直接接することにより、社会医学の調査方法の獲得を図った。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
	(3) 地域保健の支援に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	Ⅱ	
	<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。 地域の医師不足解消のため、政策医療等支援教員20人を医学部地域医療支援センターに配属し、地域医療や救急・災害・周産期・感染症等の分野に貢献していると認められる民間病院へ派遣した。 また、県地域医療再生計画に基づき、平成22年4月から、相双地域の医療機関に対し、地域医療再生支援教員（12名）を派遣することとした。</p>										
	(4) 産学官連携の推進に関する具体的方策	A	0	B	3	C	1	D	0	Ⅱ	
<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。 民間企業等との共同研究において、企業から研究員を受け入れるなど人材交流を行った。また、知的財産管理活用オフィスが窓口となり、学外からの照会などに対応し、産学連携の推進に努めた。</p>											
(5) 地域貢献の評価に関する具体的方策	A	0	B	1	C	0	D	0	Ⅱ		
	<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。 地域の医師等（看護師、その他医療従事者を含む）を対象にしたセミナーを7回開催した。また、専門看護技師、認定看護技師が福島県内の医療施設や福島県看護協会主催の介護研修の講師として各種分野で貢献した。</p>									Ⅱ	地域の医療関係者を対象にしたセミナーを年7回開催するなど、地域の医療人の育成に貢献したことについては評価できる。

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	1	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
(1)	留学生交流、その他諸外国の大学・研究機関等との教育研究上の交流に関する具体的方策	A	0	B	3	C	1	D	0	II	国際連携協定に基づき、今年度初めて医学部生が中国武漢大学へ1ヶ月程度留学するなど、学生の海外留学を支援する体制を構築したことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 本学5年生2名が約1か月間に亘り中国武漢大学に留学し、教員のみならず、学生間の国際交流を通じて、相互理解、信頼関係の醸成に努めた。									
5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	0	B	27	C	2	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
(1) 1	良質な医療人の育成に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	スキルラボを平成21年4月から開所し、卒前から卒後までのシミュレーター教育の充実を図ったことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 4月にスキルラボを開所し、卒前から卒後までのシミュレーター教育研修の充実を図った。 また、「福島県立医科大学地域交流事業」を実施し、地域の方々と交流を通して、福島県の医師として目的意識を持って活躍できるよう各種プログラムを実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(1) 2	高度で先進的な医療の研究・開発とEBM（根拠に基づく医療）の推進に関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	平成21年5月から、臨床データの有効活用を図りEBMの推進を図る手段の一つとして新システムを稼働させ、データの検索などの機能を充実させたことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 5月にデータ検索などの機能を充実させた新しい総合医療システムを稼働させ、EBMの推進等臨床データの有効利用を図った。									
(2)	高度で先進的な良質な医療の提供に関する具体的方策	A	0	B	3	C	1	D	0	II	三次救急医療機関として、厚生労働省による充実段階評価において、A評価となり、2月から救命救急入院料に加算額を取ることができるようになったことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 ドクターヘリ症例検討会を県内5方部で開催するなど、関係機関との連携を強化した。 「救命救急センター運営連絡会議」を立ち上げ、救命救急センターの運営に関する事項や院内の連携体制に関する事項を検討した。									
(3)	患者の安全管理と患者サービスの向上に関する具体的方策	A	0	B	7	C	1	D	0	II	患者やその家族から寄せられる意見等を把握し、対応を検討するために、平成21年7月から「患者退院時アンケート」を実施し、集計結果について各合同委員会や各部署にフィードバックしたことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 患者及び家族からの意見を部長会、副部長・看護師長合同会議で周知するとともに、記名があるものについては、本人宛に病院長から回答を送付した。また、サービス内容の改善要望については、できるところから早期に取り組み、患者の安全管理と患者サービスの向上を図った。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
	(4) 地域と連携に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	都道府県がん診療連携拠点病院として高度な医療提供等を行うとともに、「福島県がん診療連携協議会」を開催し、地域がん診療連携拠点病院と連携を図ったことについて評価できる。
	(5) 安定的かつ効率的な病院経営に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	特定機能病院の機能充実を実現するため、平成21年度から「医療情報部」の組織改編を行い、新たに「医療連携部」を設け、病病・病診連携事業、退院支援等を専門的に行う体制を整備したことについて評価できる。
	(6) 会津医療センター（仮称）に関する具体的方策	A	0	B	1	C	0	D	0	II	

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	3	B	29	C	3	D	0	II	
	年度計画どおり概ね順調に実施した。										
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	2	D	0	II	
	年度計画どおり順調に実施した。										
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	理事長の補佐体制が強化されたことについて評価できる。
	年度計画どおり順調に実施した。 理事長のリーダーシップを強化するため、20年度から設置された3名の参与は、理事長の特命事項を迅速に処理した。 新設の法人経営室は、役員や参与をサポートしながら、課題解決等に当たることで理事長の活動を支援した。										
(2)	全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策	A	0	B	1	C	2	D	0	III	
	年度計画どおり順調に実施した。 「発展研究」、「育成研究」、「奨励研究」の各事業を新たに設け、次世代を担う研究に発展しうる研究の育成に努めるとともに、海外で開催される学会に発表者として参加する大学院生への補助を設け、国際的な競争力を持つ若手研究者の育成に努めた。										
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
	年度計画どおり順調に実施した。										
(1)	教育研究組織の編成・見直しのシステムに関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	教育研究体制の強化のため、教育研究組織の尾見直しを行い、平成22年度から附属病院救急科、輸血・移植免疫部、地域・家庭医療部を講座化したことは評価できる。
	年度計画どおり順調に実施した。 教育研究体制の強化を図るため、平成22年度から附属病院救急科、輸血・移植免疫部、地域・家庭医療部を講座化するなど教育研究組織の編成・見直しに努めた。										

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
3	教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	10	C	1	D	0	II	
		年度計画を一部上回って順調に実施した。									
(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	2	B	7	C	1	D	0	II	平成21年4月から任期付教員の制度を開始したり、会津医療センターの開設に向け、定年を設けない有期雇用制度による医師の確保について検討するなど、優れた人材確保のための取組みを行ったことについて評価できる。
		年度計画を一部上回って順調に実施した。 職員就業規則の一部を改正し、平成21年4月から任期付教員の制度を開始した。 会津医療センターの開設に向け、定年を設けない有期雇用制度による医師の確保について検討した。									
(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。 他大学で実施している人事評価制度についての調査を実施し、「能力評価制度」、「業績評価制度」、「業績に対するインセンティブの導入」を柱とした新たな人事評価制度素案を策定した。									
4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	8	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	事務組織の再編について検証を行い、平成22年度組織改正の中で修正を行ったことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 医療人育成・支援センターの事業拡充に伴い、病院経営課に副課長（業務）の職を新設した。また、企画財務課の課内室を設け、産学官連携事業に係る県との連携体制を強化した。 さらに、事務の一元化のため、事務部長が事務局次長（業務担当）を兼務することとし、事務部職員を事務局兼務とした。									
(2)	事務等の効率化に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	福島大学との共同購入や外部委託可能な業務について検討するなど、事務の効率化を推進したことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 大学連携の一環として福島大学との共同購入を行うなど事務の効率化を推進した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	14	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。 科学研究費補助金の採択に携わった者や、採択率を向上させた実績を持つ他大学の関係者等を講師として「科学研究費補助金の申請に係る講演会」を開催し、外部資金獲得についての体制整備に努めた。									
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	光熱水費の徹底した進行管理により経費節減を図ったことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 コピー用紙の削減、時間外消灯の徹底、酷暑期間中の軽装、ボイラー熱源について重油単価の動向を勘案しながら、部分的に都市ガスを用いる等、経費節減に取り組んだ。									
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 施設の利用状況の確認や利用申込みについて、イントラネットの施設予約機能に統合したシステムを構築し、施設、設備の効率的な利用を図った。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	9	C	1	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。									
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	現行の授業評価システムの見直しを行い、特に評価項目の自由記述項目について具体的に明記することができるようにするなどの改善を図り、平成22年度前期から実施することとしたことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 法人評価については、法人内部組織である企画室において、年度計画の四半期ごとの実績を各部局から報告させるなど進行管理に努めた。 認証評価については、評価室の下に専門部会を設置し、「独立行政法人大学評価・学位授与機構」の大学評価基準に基づく担当部局の整理を行うなど点検に努め、部会案を作成した。									
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 認証評価のための自己点検・評価報告書の作成体制を整理し、PDCAサイクルを基本とする自己点検・自己評価に取り組んだ。									
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	1	B	2	C	1	D	0	II	教育の質の向上のため、教育に関する研修会として、平成21年9月に、主に総合科学科目の教員や教育経験の浅い教員を対象に「チュートリアルコース」と「スキルラボコース」の二つのコースを設定し、教育についての理解を深めたことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 両学部において、教員の教育力向上を目指した研修会を定期的で開催するなど教育組織の改善に努めた。									

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
1	大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	附属病院の診療に係る情報提供の一環として、ドクターヘリのホームページを平成21年6月にリニューアルするなど、内容の充実に努めたことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 ドクターヘリのホームページのリニューアルを行うなど大学ホームページの情報を随時更新し、内容の充実に努めた。									
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 ユニバーサルデザインを取り入れた内視鏡室等の外来再編事業を実施するなど人に優しい施設整備に努めた。									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	医療人育成・支援センターの臨床心理士の資格を持つ教員が、大学健康管理センター兼務となり、メンタルヘルスに関する相談業務を、平成21年度より行ったことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 21年度より医療人育成・支援センターの臨床心理士の資格を持つ教員が大学健康管理センター職員を兼務とし、メンタルヘルスに関する相談業務を行い、学生等の健康管理の充実に努めた。									
第1～第6 (計204項目)		A	12	B	175	C	17	D	0	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない

